

「中年世代の世帯構成と健康状態、健康行動の関連に関する研究」説明書

●2026年6月20日

研究責任者 名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学 教授 若井 建志

研究の目的・あらまし



この研究は、40～59歳の中年世代を対象に、世帯構成（同居者の有無や婚姻状況）と健康状態・心理状況や健康に関する行動との関連を調べ、より良い健康のための方法を明らかにすることを目的としています。研究は名古屋大学大学院医学系研究科 予防医学分野が、広島大学や東北大学と共同（研究機関は追加の可能性があります）で、一般社団法人 中央調査社に依頼して行います。本研究は名古屋大学大学院医学系研究科 生命倫理審査委員会の承認、同研究科長の許可を受けております。

研究参加について



参加は自由で、参加しなくても不利益はありません。また、不利益なく同意を撤回できます。ただし研究結果の発表後や、個人が特定できないようデータを処理（非識別化）した後は、データの削除はできません。

研究の進め方



調査は、住民基本台帳から無作為に抽出された40～59歳の方を対象に、同封の紙の調査票（アンケート）またはインターネットのアンケートで行います。対象者は、単身世帯の方、または生まれ年の差が15年以内の異性の同居者も平成13年以降生まれの同居者もいない方32,000名と、それ以外の方6,400名です。

ご回答は、記入を終えた調査票を同封の返信用封筒に入れてご返送いただくか、調査票の表紙で説明しておりますインターネットの回答画面からお答えください。アンケートには、参加者の基本的な情報、社会活動、健康状態、心理状況、健康行動などが含まれます。答えたくない質問には回答しなくても構いません。

参加者には1000円分のQUOカードを謝礼としてお送りします。

お寄せいただいた情報を用いて、①同居者の有無や婚姻状況と健康状態や健康行動、②健康状態や健康行動に影響する個人や地域の要因、③同居者の有無や婚姻状況が健康に与える影響の仕組みを分析します。

データの管理と利用



ご回答データには、中央調査社で番号が付けられ、番号と個人を特定できる情報（住所・氏名・生年月日など）との一覧表は同社で厳重に保管されます。研究者は誰のものかわからないデータのみを利用します。研究終了後10年間はデータを保管し、その後はシュレッダーまたは専用ソフトを用いて廃棄します。

研究成果は、個人がわからない（非識別化された）形で学会や学術雑誌、ウェブページなどで公表されます。個人のデータは、参加者本人には開示されません。非識別化されたデータは、研究・教育のため、東京大学社会科学研究所 附属社会調査・データアーカイブ研究センターのSSJデータアーカイブに提供する予定です。また生命倫理審査委員会の審査を受けた上で、他の研究機関へ提供される場合があります。

その他



研究の経費は寄附金や名古屋大学大学院医学系研究科の予算、文部科学省の科学研究費から支出されます。

追加の研究の可能性があり、本研究の調査票で約3年後に調査票を送ってもよいと回答された方には、再度調査票が送られる場合があります。その際も生命倫理審査委員会の承認を受けた上で実施します。

第三者によるモニタリングや監査は行いません。研究からの知的財産権は、研究者と研究機関が持ちます。

問い合わせ・苦情の受付先

研究内容や疑問・不安については、一般社団法人 中央調査社（フリーダイヤル 0120-48-5351、連絡先の詳細は調査票表紙をご覧ください）にご相談ください。

苦情の受付先は、名古屋大学医学部経営企画課（電話：052-744-2479）です。

説明書（詳細版）はこのQRコードまたは
<https://is.gd/rCxKqZ>
からご覧いただけます。

